

令和2年(2020年)7月28日 (火曜日)



都市計画決定・変更に関する公聴会で意見を述べる市民ら  
＝三島市民体育館

三島駅南口東街区の再開発事業で、三島市は27日、「都市計画決定・変更(原案)」に関する公聴会を同市民体育館で開いた。市民が公開の場で考えを述べる機会で、参加した約40人からは再開発事業の推進を求める声がある一方で、事業見直しが必要と訴える賛否両論の意見が聞かれた。

新型コロナウイルス感染症拡大のため、当初の予定を約4カ月延期して開催した。同再開

三島駅南口  
東街区再開発

「活性化の起爆剤」「コロナで疲弊、中止を」

# 事業推進に賛否の声

## 市が都市計画原案公聴会

宅機能などを備えたタワー棟、ホテル、立体駐車場を整備。総事業費は211億円、実質的な市負担は56億円と見込んでいる。今後、11月中の都市計画決定、2025年度中の完成を目指している。参加した市民からは「地域活性化の起爆剤になる。事業を推進し、早期完成を期待する」「三島という立地上、伊豆の玄関口にふさわ

しい再開発が進むことが必要」といった賛成意見が出る一方で、「新型コロナウイルスの影響で市内経済も疲弊している。計画をいったん中止し、再検討すべきだ」「建物は水と緑のまち、三島にそぐわない。地質学的な問題も解決されていない」といった反対意見があった。傍聴には市民ら約110人が訪れた。